



ID: 1219

科目名	保育実習指導Ⅱ・Ⅲ(前半)【26年度生用】			コード			
英語表記	nursery training guidanceⅡ・Ⅲ						
担当教員名	国広 勝代			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	通年		単位数		
授業形態	演習	授業形式			履修形態		
授業概要							
「保育実習Ⅰ」を終えての課題を踏まえ、既習の教科の内容や関連性を踏まえた保育実践力を養う。保育士の専門性と職業倫理について理解し、保育所実習・施設実習に備える。実習後は、実習の総括と自己評価を行い、保育所保育・施設保育における課題や認識を明確にしていく。							
到達目標							
・保育実習による総合的な学びを意識させる。・保育士の専門性と職業倫理についての認識を深める。							
授業計画							
第1回							
第2回	《事前》						
第3回	・子どもの最善の利益を考慮した保育について …………… 1回						
第4回	・子どもの保育と保護者支援 …………… 1回						
第5回	・子どもの状態に応じた適切なかわり …………… 3回						
第6回	・保育の表現技術を生かした保育実践 …………… 2回						
第7回	・保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践 …………… 2回						
第8回	・保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 …………… 2回						
第9回	・保育士の専門性と職業倫理 …………… 2回						
第10回							
第11回	《事後》						
第12回	・「保育実習Ⅱ・Ⅲ報告書」を作成する。 …………… 1回						
第13回	・報告会において報告する。 …………… 1回						
第14回							
第15回							
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
演習科目として、出席と積極的な授業態度を重視する。また、実習のふりかえりに基づいた報告書も評価の対象となる。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30%	50%		20%
授業外学習			テキスト、教材				
			大豆生田啓友・高杉展・若月芳浩編著『幼稚園実習 保育所・施設実習』ミネルヴァ書房				
参考書			受講生へのメッセージ				
高嶋景子・砂上史子・森上史朗編「子ども理解と援助」ミネルヴァ書房							
キーワード							
実習課題 記録 専門性 職業倫理							